

令和6年度 自己評価結果公表シート

マミーベア保育園やごとひがし

1. 保育園の保育目標

一人ひとりの生活リズムが安定し、安全で清潔な環境で心地よく過ごせるようにする。

2. 本年度取り組む重点目標

保育 内容	① 保育者との信頼関係の中で、自分でやろうとする気持ちを養う。
	② 身の回りのことを自分で行いやすいように環境を見直すとともに意欲を大切に し、一人ひとりに応じて手助けをする。
	③ 子どものやりたい気持ちを尊重し、興味・関心のあることを感じ取る。

3. 重点目標達成に向けての具体的な計画

保育 内容	① 様々な経験をすることで「また、やってみたい」「自分でやりたい」という気持ちを持 つように働きかける。
	② 子ども一人ひとりを職員全員が把握できるよう、会議などで共有する。
	③ 全身を使ったあそび、指先を使ったあそび、感触を楽しむ遊びなどを経験し、 「やりたい」気持ちを育てる。

4. 重点目標の達成及び取組状況

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない

D: 取り組まれていない

評価項目	結果	理 由
①	B	やろうとする気持ちがある一方、甘えたい欲求も出てきて、やる気に持 っていき力が充分ではなかった。
②	B	定期的に話すことができず、行事などに追われてしまう時期があった。
③	B	そのときの子どもの様子を見て、いろいろなことを経験したが、どうして も全員(年齢別で)になってしまい、本当にその子がやりたかったの か？

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
落ち着いて過ごせる環境構成を考え、実践していく。	玩具の配置、棚の中の整理など、一人ひとりが集中して遊べる空間を作る。
子どものやりたい気持ちをキャッチし、職員で共有し、保護者にも伝えていく。	会議では、必ず子どもたちについても話し合うようにし、子どもの気持ちに沿った活動ができるようにしていく。また、その様子を保護者にも伝えるようにしていく。

6. 園長総評

毎年の課題ではあるが、0,1,2 歳児が同じ空間で1日を過ごすため、どうしても個人に目を向ける機会が少なくなってしまうということが反省点として挙げられていた。

集団で過ごす保育園だが、その中でも一人ひとりを尊重し、保育していくということを改めて職員全員で再確認する機会になった。

1日長い時間を保育園で過ごす子どもたちにとって、どうすれば快適に1日が過ごせるのか。

午前中の活動だけではなく、食事や午睡、夕方の過ごし方なども常に子どもたちのことを考えながら保育していきたいと思う。

また、今年から連絡帳からアプリで保護者へ伝えるように変わったが、保護者の方からも特に意見もなく、スムーズに進められている。

園からの様子もちろんだが、家庭での様子も詳しくわかるようになり、保育士の仕事の効率化にもつながっていると思う。

このように保育士の仕事の効率化になり、その分、さらに子どもたちに寄り添えるようになれば、より良い保育が行えるのではないかなと思う。

来年度も、職員が一体となって、子どもたちが、安心・安全に過ごせるようにしていきたい。